

令和5年度 学校評価書（共通） 前期

校名 宇和島市立玉津小学校

1 自己評価書

教育目標	ふるさとを愛し、正しく明るくつよい児童の育成						
基本方針	地域とのつながりを重視した信頼される学校						
本年度 重点目標	1 地域とともにある学校づくり 2 心の教育 3 安全安心な環境づくり 4 学びの充実						
評価 項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価		
確かな学力の 定着と向上	①	全国学力・学習状況調査 及び市標準学力調査の活用	自校のねらいに沿って、各調査を分析し、成果と課題を把握し、具体的な対策を講じた。	・分析資料の作成	C	C	
			・具体的な対策の実施	C			
	②	授業改善	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善に努めた。	・教師アンケート	C	B	
			・保護者アンケート	B			
			・児童生徒アンケート	B			
			ねらいを明確にした分かる授業を行うとともに、学びの成果を実感させる振り返りを行った。	・教師アンケート	C	C	
			・児童生徒アンケート	B			
			一人1台端末(iPad)及びEILS(えひめICT学習支援システム)を積極的に活用し、個に応じた新しい学びのあり方の推進に努めた。	・教師アンケート	C		B
	・保護者アンケート	C					
	・児童生徒アンケート	A					
	③	家庭学習の充実	家庭との協働による主体的な学習習慣の確立に努めた。(予習・復習・振り返り等)	・教師アンケート	C	C	
				・保護者アンケート	C		
				・児童生徒アンケート	A		
	④	読書活動の充実	読書に対する関心や意欲が高まるような取組や声掛けを積極的に行った。	・教師アンケート	C	C	
				・保護者アンケート	C		
・児童生徒アンケート				C			
⑤	ふるさと学習及び ESDの推進	社会や地域の課題解決や活性化に向けた活動及び調べ学習等を通して、地域に対する誇り・愛着の醸成や、持続可能な社会を創造しようとする態度の育成に努めた。	・教師アンケート	C	B		
			・保護者アンケート	B			
			・児童生徒アンケート	B			
(成果○と課題●) ○ ipadに教師も児童も慣れてきた。今後、活用に効果を高める工夫が必要である。 ● 読書に対する意識が低い。高学年になると読書量が明らかに語彙や論理的思考に影響している。 ● 全校的な読書への取組の呼び掛けが足りなかった。 (改善策☆等) ☆ 全国学力学習状況調査に対応できる力を身に付けさせる授業となっているかどうか、今一度、確認が必要である。 ☆ 新しい本を購入し、読書意欲を高める。読書タイムの設定や本の紹介、感想交流などに取り組んでみてはどうか。							
評価 項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価		
生徒指導の 充実	①	規範意識の向上	規範意識を高めるための共通理解、共通実践に努め、児童生徒の行動規範が高まってきた。	・教師アンケート	C	C	
				・保護者アンケート	C		
				・児童生徒アンケート	A		
	②	児童生徒の 健全育成	児童生徒に寄り添った対応を行うとともに、児童生徒同士の人間関係づくりや仲間意識に支えられた集団づくりの推進に努めた。	・教師アンケート	C	B	
				・保護者アンケート	B		
				・児童生徒アンケート	A		
				不登校の未然防止や状況改善に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして取り組んだ。	・教師アンケート	C	B
					・児童生徒アンケート	B	
					・保護者アンケート	A	
	いじめの未然防止、早期発見に努めるとともに、迅速な初期対応や組織的な対応等により、いじめの早期解決に努めた。	・教師アンケート	C	B			
		・児童生徒アンケート	A				
		・保護者アンケート	B				
	③	基本的生活習慣 の徹底	基本的な生活習慣の確立に向けて、家庭との連携・協力の下、学校全体で組織的に取り組んだ。	・教師アンケート	C	B	
				・児童生徒アンケート	A		
				・保護者アンケート	B		
④	自己肯定感 等	自己肯定感を涵養する取組の工夫・改善を具体的にに行った(自分にはいいところがある)。 自己有用感(人の役に立っている)や達成感を醸成する取組により、子どもの意識に変化が見られた。	・教師アンケート	C	B		
			・児童アンケート	B			
			・教師アンケート	C			
			・児童アンケート	B			
(成果○と課題●) ○ 集団行動の基本が身に付いてきた。あいさつについても、向上が見られる。 ● 生徒指導上のトラブルについて、一部の教員しか知らないことがある。全職員で共通理解し、学校全体で支援や見守りができるようにしたい。 (改善策☆等) ☆ 普段から児童のふざけやからかいにアンテナを張り、適切に指導することを心掛ける。また、有事の際には、教員間での情報交換を密にし、タイミングを逃さず指導に当たる。							

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満

評価項目	評価小項目		評価の観点	評価資料	評価	評価
働き方改革	①	ワーク・ライフ・バランス	仕事のやりがいを重視しつつ、時間外勤務が月80時間を超える教職員ゼロを目指して、 <u>教職員の意識改革</u> に努めた。	・教師アンケート	B	C
				・「出勤・退庁調査」の分析と活用	C	
	②	働きやすい環境づくり	新型コロナウイルス感染症5類感染症への移行後の業務改善に向けて、教育活動の回復や精選に慣例にとらわれることなく取り組んだ。	・教師アンケート	B	B
			休業日の設定を含めた計画的な課外活動や部活動等の適切な運営がなされた。	・教師アンケート	C	C
	③	他の教職員のサポート体制の充実	「何でも相談し合える雰囲気づくり」「経験の浅い教職員を皆で支える雰囲気づくり」など、温かく働きやすい職場づくりに努めた。	・教師アンケート	C	C
	(成果○と課題●)					
	○ 互いに声を掛け合うことで、分からないことや悩みを相談しやすい雰囲気づくりができています。					
	● インフルエンザ対応で、いつもと違う対応を取ったり、悩んだりすることが多く、精神的な負担を感じることもあった。					
	(改善策☆等)					
	☆ 一人一人が超過勤務時間を把握し、よりよいワークライフバランスの意識を持つ。また、健康第一で無理をしない勤務形態をとる。					
☆ 業務改善については、改善の余地がある。2学期以降、教職員からアイデアを募集して具体的な取組を進めていきたい。						
評価項目	評価小項目		評価の観点	評価資料	評価	評価
地域との連携	①	学校運営協議会の活性化	全教職員に対して、学校運営協議会の役割・目的の周知徹底に努めた(校内体制)。	・教師アンケート	B	B
			学校運営協議会・地域学校協働活動の活性化(地域・保護者へ)を図り、地域の力を学校運営に生かすよう努めた。	・教師アンケート	B	
				・保護者アンケート	B	
				・地域アンケート		
	②	情報発信	家庭や地域に対して、教育活動に関する情報を、文書やホームページ等で積極的に発信した。	・教師アンケート	B	B
				・保護者アンケート	B	
				・地域アンケート		
	③	来校・相談体制	保護者や地域の方々が来校しやすく、相談しやすい体制・雰囲気づくりに努めた。	・教師アンケート	B	B
				・保護者アンケート	B	
				・地域アンケート		
(成果○と課題●)						
○ 地域学習など、地域学校協働活動推進員に地域や団体との連携をしていただけたので、とても助かった。						
○ 2学期以降も電話や来校者の対応について、相手の身になり、気持ちの良い対応を心掛けたい。						
● 保護者の方から、マチコミをもっと利用して情報を発信してほしいという依頼が多かった。						
(改善策☆等)						
☆ ホームページや通信等を活用し、地域全体に情報を発信して、教育活動を理解していただく。						
☆ マチコミ発信については、緊急時以外にも、学校行事や日々の教育活動など、内容を精査し、情報発信に努めたい。また、学級担任から受持ち児童保護者へメール送信できる環境を整えたい。						

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満